



セミの抜け殻しらべ



【団体出展】

セミの抜け殻しらべ市民ネット(東京都)

●どんな観察なの？

セミの抜け殻は、セミの幼虫が羽化する（羽が生えて成虫になる）ときに脱皮した後のカラです。抜け殻をしらべることで、それがどんなセミなのか、また、オスカメスかもわかります。ある場所で夏の間にとれた抜け殻をしらべると、その場所でどんなセミが何匹羽化したのかがわかります。いろいろな場所できしらべると、どんな場所にどんなセミが多いか、違いがわかってくるかもしれません。

●観察のしかたとコツ

東京の公園で見られるセミはアブラゼミ、ミンミンゼミ、ニイニゼミ、ツクツクボウシ、ヒグラシ、クマゼミの6種類です（図1）。抜け殻は大きさや形、泥がついているかどうかなどで、見分けることができます。アブラゼミとミンミンゼミの抜け殻はよく似ているので、触角の特徴で見分けます。アブラゼミは頭から3番目の節が太く、ミンミンゼミは1節、2節、3節と順次細くなっています（図2）。オスとメスはこの種類でも、産卵管の跡の有無で見分けることができます（ニイニゼミは洗わないと泥で見えませんが）（図3）。



図1

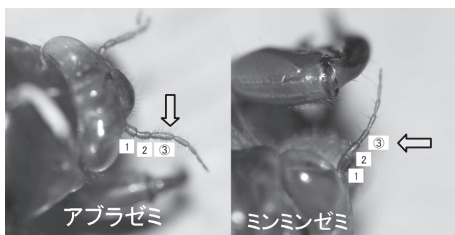


図2

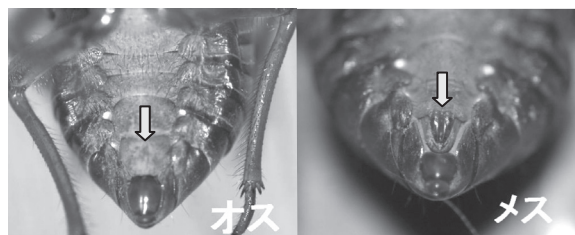


図3

●気をつけよう

野外では危険な場所や、ハチやドクガなど危険な生き物に注意しましょう。

●もっとくわしく知るために

下記のサイトで抜け殻しらべの方法や、今までの調査結果が見られます。

・セミの抜け殻しらべ市民ネット URL <http://semigara.org/>